

平成30年度事業計画書

1. 保健管理研究集会事業

(1) 全国研究集会開催事業

全国大学保健管理研究集会は、全国の国・公・私立大学における保健管理の研究者及び実務担当者等が一堂に会し、各大学において取り組んでいる学生・教職員の保健管理に関する種々の課題について、その調査・研究成果を発表・討論すると共に、有識者から感染症やメンタルヘルスなど時宜を得た講演を受講し、シンポジウムにおいて議論に参加することにより、大学における学生・教職員等の保健管理の一層の充実、公衆衛生の向上並びに学術研究の発展に寄与することを目的として開催している。

平成30年度の第56回全国大学保健管理研究集会は、東京大学を当番校として平成30年10月3日（水）～4日（木）の両日、東京都品川区「きゅりあん（品川区立総合区民会館）」において開催する。

なお、詳細はプログラム等が確定次第、当協会ホームページ等にて案内する。

(2) 地方部会研究集会開催事業

当協会では、北海道、東北、関東甲信越、東海北陸、近畿、中国四国及び九州の各地域に地方部会を設け、地方部会ごとに保健管理研究集会、研究会、研修会、事例検討会等を開催し、当該地域の大学等の保健管理施設に勤務する研究者、実務担当者等の知的交流及び研究活動の活性化を図り、大学における保健管理の一層の充実に努めている。

各地方部会では、当該地域の大学等の保健管理施設に勤務する研究者や実務担当者等が日頃から取り組んでいる保健管理に関する課題等を持ち寄り、その成果を発表、討論する研究集会を開催するほか、地域の特性に応じたテーマ或いは職種毎の研究会・研修会を開催して保健管理に関する研究の進展や技術の向上等を図るため取り組んでいる。

平成29年度も昨年度と同様、各地方部会において研究集会や職種ごとの研究会・研修会を開催する。

なお、詳細はプログラム等が確定次第、当協会ホームページ等で案内する。

2. 保健管理業務情報事業

(1) 機関誌発行事業

当協会では、大学における保健管理に関する分野の調査研究活動の成果や研究論文

並びに全国大学保健管理研究集会報告集を機関誌として年1回刊行している。

平成30年度は、第56回全国大学保健管理研究集会報告書として「CAMPUS HEALTH(1)」を、また、機関誌編集委員会において時宜を得たテーマを設定した特集記事、学術論文・一般投稿論文掲載の「CAMPUS HEALTH(2)」を本協会のホームページ上に掲載する。

(2) 情報活用・交換事業

麻疹や新型インフルエンザの流行、子宮頸がんワクチンの認可及び行政上の接種支援措置の実施とその後の「積極的な接種勧奨の差し控え」問題など大学における保健管理に関する事案について、大学として時宜を得た施策が求められるが、個々の大学の保健管理施設だけでは対応することが難しい。

そこで、当協会では大学の保健管理に関する各種の情報や資料の収集を行い、各大学が合理的で適切な判断や対応ができるように、これら収集した情報や資料を提供している。

平成30年度は、大学の保健管理に関する資料や情報を会員間だけでなく当協会のホームページを通して広く提供するほか、各種情報を任意宛に一斉配信する機能の充実向上を図るとともに、更にメールマガジン機能を備えた情報交換網の整備を行い、大学におけるインフルエンザや麻疹等の感染症の発生等の緊急時対応やメンタルヘルスなど学生・教職員の保健管理に関する諸課題等に迅速かつ適切に対応できるよう本事業を推進する。

また、平成29年度に構築した職種別（医師、看護師、検査技師等）、大学別（国公立）、地域別の電子メール双方向配信システムを活用し、会員間の連携を図ると共に、会員同士の交流の場として活用できる、会員交流サイト等を開設し、交流の促進を図る。

さらに、国際連携委員会、研究倫理委員会及びウェブ情報委員会の活動状況等をホームページで、情報を発信する。